

個人山行

## 大磯丘陵：高麗山 168m

- ◆日程 2019年1月18日(金)
- ◆メンバー L：渡辺 豊
- ◆天候 無風快晴

目的 ①高麗山の自然と、文化の匂いわきたつ大磯の地を味わう。  
②おまけで茅ヶ崎美術館の版画展を鑑賞する。

**湘南平** 湘南平の展望台は360度の眺望だ。さえぎるものが何もない。風景が真つすぐ心に入ってくる。無風快晴の青空が周囲の山々をこれでもかと際立たせていた。

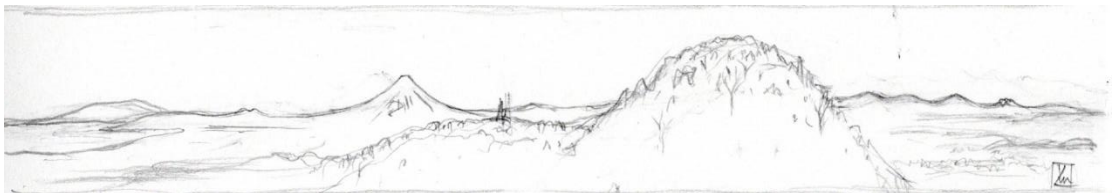
**島崎藤村** ーまだあげ初めし前髪の 林檎のもとに見えしとき  
前にさしたる花櫛の 花ある君と思いけりー (初恋)  
四月最初のラジオ講座が藤村の初恋だった。わきたつも匂うがごとき文学の世界に短波放送のイヤホンを強く耳に押し当てた。高校三年のことだった。  
藤村の墓が地福寺にある。小さなロウバイが咲いていた。

**超厚化粧** 大磯駅前に観光案内所がある。案内のご婦人と藤村の「初恋」の話で盛り上がった。切れの良い語り口と、チャーミングな超厚化粧に心をえぐられた。あんまり強烈だったので、鳴立庵のお土産どら焼き一個180円を、帰りに届けた。匂うがごとき文化の町大磯には厚化粧がよく似合う。

**楊谷寺谷戸横穴群** 「ようこくじやとおうけつぐん」は、大磯駅から20分位登った所にある古墳時代のお墓あとです。大勢の人が暮らしていた。奈良時代には、高句麗人が高度な文化を伝えた。現在は未公開の別荘邸宅が砂浜海岸に立ち並ぶ。今後、時期は未定だが一般開放が決まったらいい。厚化粧でチャーミングな観光案内所のご婦人が教えてくれた。

**茅ヶ崎美術館** 庭園に小川が流れ、梅の老木が見事だった。ヒヨドリがのんびりと水浴びをしていた。ジョウビタキやシジュウカラが2メートル先の枝から逃げない。圧巻はウグイスだった。目の前すぐの枝にしばらくとまっていた。ふつうはやぶの中から姿を現さない。超ラッキー。安心してさえずっている小鳥たちに、穏やかな湘南の町茅ヶ崎を感じた。  
サザンオールスターズの曲が静かにながれていた。(記：渡辺 豊)

CT：自宅 8：50-JR 大磯駅 10：30-湘南平 11：30-楊谷寺谷戸横穴群 11：45  
-地福寺(島崎藤村の墓) 12：20-鳴立庵(西行ゆかりの地) 13：00  
-茅ヶ崎美術館 13：40-自宅 16：00



「高麗山 168m と 富士山」 2019. 1. 18